MS839ハンドヘルド
バーコードスキャナ

取扱説明書

2010年2月

ユニテック・ジャパン株式会社

目　次

第1章　概要

MS839バーコードスキャナは、キーボード、USBインターフェースそしてRS232シリアルインターフェースをサポートしています。

キーボード、USBインターフェースは、Windows PCをサポートしています。

RS232シリアルインターフェースは、RS232通信プロトコルを使用してデータを送信します。通信速度は300bpsから38400bpsの範囲です。

UNIXやXENIX等のANSI ASCII通信環境がインストールされたシステムでは、RS232ターミナルインターフェースは、全二重とブロック通信モードをサポートします。

MS839スキャナは、以下のバーコードシンボルをサポートします。

Code 39 (標準とフルASCII)	Codabar (NW7)
UPC/EAN/JAN	UCC/EAN 128
Interleaved 2 of 5	Code 32
Standard 2 of 5	Code 93
MSI Code	Code 128
Plessy Code	China Postal Code
GS1 Databar	

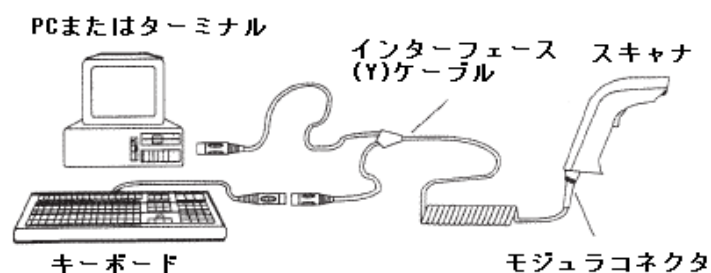
第2章　キーボードインターフェース

キーボードインターフェースの場合、スキャナはPCとキーボードの間に取り付けられます。図をご覧下さい。スキャナは、キーボード入力をエミュレートすることによってPCにデータを送出し、キーボードの拡張の様に働きます。

2.1 キーボードインターフェースのインストール

スキャナは下の図のようにして簡単にインストールすることができます。インストールする前に、ケーブルがYタイプのものであることをお確かめ下さい。

インストールの手順

(1) Yケーブルのモジュラコネクタ(RJ45)をクリック感があるまでスキャナの底部に差し込みます。

(2) PCまたはターミナルの電源を切ります。

(3) PCまたはターミナルからキーボードを外します。

(4) キーボードのコネクタをYケーブルの合う方に差し込みます。

(5) Yコネクタの残った方をPCまたはターミナルのキーボードポートに差し込みます。

(6) PCまたはターミナルの電源を入れ、スキャナのスイッチを押すとレーザ光が出ることを確認します。

(7) ステップ6で何も起こらなかったら、ケーブルの接続を先ずチェックして、PCあるいはターミナルの電源が入っていることを確認します。

(8) スキャナがあらかじめPCまたはターミナルに接続されていない限り、付録Dのグループ1から正しいデバイス番号を選択する必要があるかもしれません。

(9) このスキャナの標準設定は、IBM PC/ATとPS/2です。確実に選択するには以下のバーコードをスキャンします。

.C001$

F3 AT[PS/2]

2.2 キーボード無し、あるいはノートPCに接続

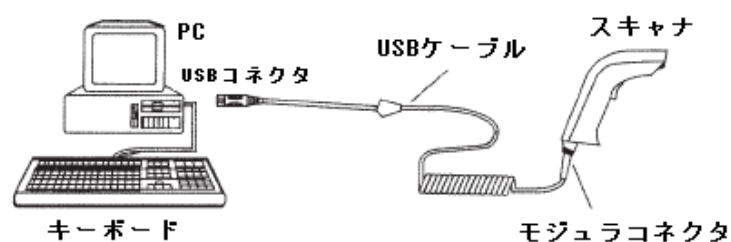
スキャナは、キーボードが無い場合に「キーボードエラー」メッセージを出さないようにするために、PCによって出されるキーボード問い合わせに応える機能を持っています。

この機能は、キーボード入力が不要なアプリケーションで便利です。この機能を有効にするには以下のバーコードをスキャンします。（あるノートPCではこの機能が正しく動作しないかもしれません。）

.C007$

Keyboardless

2.3 USBインターフェースのインストール

USBインターフェースケーブルを持つスキャナをPCのUSBポートに接続することができます。以下の図をご覧下さい。初めて接続するときはドライバをインストールするために時間がかかる場合があります。

工場出荷標準値は、USBインターフェースです。以下のバーコードをスキャンすると確実に正しい設定になります。

2. 4 動作パラメータの理解

各種のアプリケーションに合うように設定することのできる動作パラメータがあります。

文字間遅延

文字間遅延は、最初の文字が送られた後、次の文字を送信する前にスキャナが待つ時間です。スキャナによって送られる文字が正しくないか抜ける場合、文字間遅延を長くすると問題が解決するかもしれません。

ブロック間遅延

ブロック間遅延は、連続する二つのスキャンの間の最小時間間隔です。ホストPCの処理速度がスキャン速度よりも遅い場合、ブロック間遅延を大きくするとデータの信頼性が得られるかもしれません。

ファンクションコード
スキャナは、事前に定義されたラベルをスキャンすることによってキーボードのファンクションキーと他の特殊キーをエミュレートすることができます。付録BはPCの特殊キーのラベルがあります。オプションとして、これらに対応するCode 39文字(かっこ中)を印刷することによって、これらのラベルの印刷ができるでしょう。

Caps-Lock
このパラメータは、現在のキーボードのCaps-Lock状態をスキャナに知らせるので、スキャナにょって送信される文字は大文字・小文字が正しくなります。

- 自動トレース(PC/XTのみ)
  自動トレースモードでは、スキャナはCaps-Lockの状態を自動的に追い続けます。あるPCでは、スキャン性能が自動トレースのために落ちます。スキャン性能が悪い(あるいは読まない)、もしくはスキャナが大文字、小文字を正しく出力しない場合、自動トレースの代わりに以下のいずれかを試してみて下さい。
- Lower Case(下段)
  キーボードがシフトしていない状態(Caps Lockが押されていない)では、"Lower Case"を選択します。
- Upper Case(上段)
  キーボードがシフト状態(caps Lockがオン)の場合、"Upper Case"を選択します。

Alt Keyモード
"Alt Keyモード"は、言語の選択です。ALTキーと数字キーパッドのキーを押すことによって送信される文字は、MS-DOSの機能です。"ALT keyモード"を選択したとき、スキャナはスキャンしたバーコードの各文字を表すためにASCIIの組み合わせコードを送ります。システムがALTキー送信を受け入れられる場合、このモードを有効にして"大文字/小文字"と"言語"の選択を無視することができます。
付録D2とD3に設定があります。

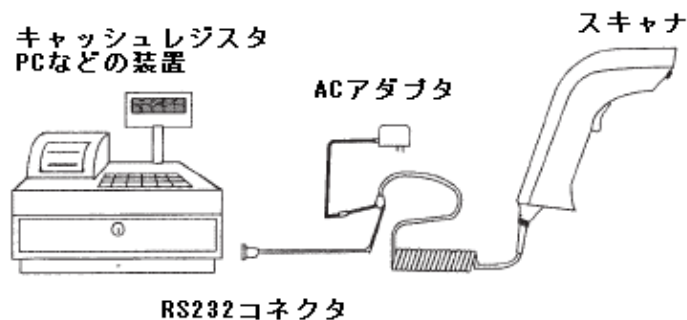
第3章　RS232インターフェース

3.1 インストール

RS232シリアルインターフェースでスキャナを使用する場合、RS232インターフェースケーブルと電源アダプタが必要です。ケーブルのピン配列とアダプタの仕様については第7章をご覧下さい。

インストールの方法

(1) 先ず、スキャナのケーブルがPCまたはホストのRS232コネクタと合っていることを確認します。ピン配列が違っている場合、アダプタや変換コネクタが必要になる場合があります。

(2) ホストの装置がRS232ポートに電源出力を持っている場合、スキャナコネクタの9ピンに電源を接続することによってスキャナに電源を供給することができます。もしコネクタに電源が供給されない場合、電源アダプタが必要です。アダプタをDB9コネクタの電源ジャックに差し込みます。

(3) インターフェースケーブルのDB9コネクタをホストのRS232ポートに差し込み、ホストの電源を入れます。

(4) スキャナの電源が入ったら、長いビープ音が鳴り、スキャナが使用できる状態になります。

3.2 動作パラメータの理解

デバイスタイプ

転送速度、パリティとデータビット:

これらのパラメータは、ホストと一致しなければならないスキャナの通信プロトコルをセットします。シリアルインターフェースの標準設定は、9,600bps、パリティ無し、そして8データビットです。

- 転送速度: 300, 600, 1200, 2400, 4800, 9600, 19200または38400
- パリティは偶数、奇数、スペース、マークまたは無しです。
- データビットは7または8ビット長です。

スキャナは、7データビットとパリティなしの組み合わせはサポートしていません。この組み合わせは7データビット+マークパリティとして扱われます。

ハンドシェーク:

スキャナはオプションとしてCTS/RTSハンドシェークをサポートしています。ハードウェアハンドシェークは文字ごとをベースにしてサポートされています。

通信中に、スキャナはタイムアウトパラメータで時間内にCTSが有効になるまでデータの送信を停止します。このタイムアウト待ちの時間は以下の通りです:

- CTSが有効になった場合。
- CTSが有効でない場合、スキャナはエラービープ音を発し、現在バッファされたデータを捨てます。

BCC文字:

BCCチェック文字は、“排他的OR”の方法を使用して全体のデータストリームについて計算されます。データ確認のためにデータストリームの後に送られます。

タイムアウト:

アプリケーションに合うようにハンドシェークとACK/NAKプロトコルについてタイムアウト時間を設定することができます。

3.3 シリアルTTL

本スキャナは、シリアルTTLインターフェースをサポートしています。これはRS232データ通信フォーマットですが、0Vから5VのTTL電圧出力です。

第4章 設定

スキャナインターフェースは、ユーザ固有のアプリケーションに合うように設定することができます。設定パラメータは電源が切られても内容を保持している非揮発性メモリに保持されます。

4.1 バーコードメニュー設定

付録Cの設定メニューは、以下の8グループがあります。

- グループ1: デバイス選択
- グループ2: ビープ音と遅延
- グループ3: キーボード
- グループ4: RS232設定
- グループ5: スキャナポート
- グループ6: Code 39, I 2 of 5, S 2 of 5, Code 32
- グループ7: Code 128, Code 93, Code 11, Codabar, MSI
- グループ8: UPC/EAN/JAN
- グループ9: ダンプ設定
- グループ13: MATRIX 2 of 5, IATA
- グループ32: GS1 Databar

4.1.1 セットアップの手順

ほとんどのパラメータについては、設定を行うためには以下のステップを実行します。

(1) 変更するパラメータを含むグループを見つけます。

(2) ビープ音が聞こえた時、新しい設定がメモリに定義もしくは更新されます。

ほとんどの設定は一つのバーコードですが、ある設定は設定を行うために複数のバーコードをスキャンする必要があります。これらには以下の設定があります。

二重確認:

ステップ1: グループ5の二重確認をスキャン

ステップ2: 数字をスキャン

ステップ3: 最小長または最大長をスキャン

最小長/最大長

ステップ1: 最小長または最大長をスキャン
ステップ2: 付録Eから二桁をスキャン
ステップ3: 最小長または最大長をスキャン

注意:
1. 完了していないことを示すためにビープが3回鳴ります。
2. 間違い、あるいはステップを忘れた場合、以下のバーコードをスキャンします。

RESET

4. 1. 2 バーコード長の設定

以下の例は、最小長5と最大長20のCode 39をセットする方法を示しています。

* “グループ7開始”をスキャン
* Code 39を選択するために“F1”をスキャン
* 最小長を入力するために“最小長”をスキャン
* 5桁を選択するために“0”と“5”をスキャン(付録E)
* 最小長の設定を終了するために“最小長”をスキャン
* 最大長を入力するために“最大長”をスキャン
* 20桁を選択するために“2”と“0”をスキャン(付録E)
* 最大長の設定を終了するために“最大長”をスキャン
* 設定を終了するために“終了”をスキャン

4. 1. 3 コードID設定

スキャナによってサポートされる各バーコードシンボルは、以下に示す標準のID文字を持っています。

コードID

シンボル	ID	シンボル	ID
MSI	eO	Codabar	N
EAN 8	eO		
UPC-E	E		
UPC-A	A	UK Plessy	P
EAN13	F		
Code 93	L	Full ASCII Code 39	M
Code 11	J	Standard Code 39	M
TELPEN	J	S25 Code	H
EAN 128	FF	Industrial 2 of 5 (Code 2 of 5)	C
Code 128	K	China Post Code (Toshiba Code)	C
Code 32 (Code39 PARAF)		Interleaved 2 of 5	I

IDの設定–設定の手順

設定のステップ:
1. シンボルのSet IDバーコードをスキャン
2. フルASCIIテーブルから1ないし2英数文字をスキャン
3. Set IDバーコードを再度スキャン

例：MSIコードID=A、Code 93=G9を定義
MSI：
ステップ1：MSI Set ID（グループ8）をスキャン
ステップ2："A"をスキャン
ステップ3：MSI Set ID（グループ8）をスキャン

Code 93：
ステップ1：Code 93 Set ID（グループ8）をスキャン
ステップ2：付録E フルASCIIチャートから"G"をスキャン、"9"をスキャン
ステップ3：Code 93 Set ID（グループ8）をスキャン

6.1.4 プリアンブルとポストアンブル

PREAMBLE(16)

POSTAMBLE(16)

例：
プリアンブル文字列を"##"としてセット
ポストアンブル文字列を"$$"としてセット

設定の手順
ステップ1：プリアンブルをスキャン
ステップ2：フルASCIIテーブルから"#"を2回スキャン
ステップ3：プリアンブルをスキャン
ステップ4：ポストアンブルをスキャン
ステップ5：フルASCIIテーブルから"$"を2回スキャン
ステップ6：ポストアンブルをスキャン

フォーマット：
{プリアンブル}{コードID}{バーコード}{ポストアンブル}

1. プリアンブルは、スキャンしたバーコードの前に付けられる16文字以内の文字列
2. ポストアンブルは、スキャンしたバーコードの後に付けられる16文字以内の文字列

4.2 クイックセットアップ

付録Aはクイックセットアップチャートです。一つのラベルで一つのファンクションを設定することができます。スキャナを設定するには、設定したいラベルを探してラベルをスキャンします。

4.3 バッチセットアップ

複数のスキャナを設定する必要がある場合、スキャナ(マスター)の設定を他のスキャナにコピーすることができます。マスタスキャナから得られる一連のカスタムセットアップラベルを印刷して、他のスキャナでこれらのラベルを読み取ります。

以下のラベルは「ダンプ設定」ラベルと呼ばれます。ラベルをスキャンする前に、テキストエディタ(メモ帳、Wordなど)を開いて下さい。以下のラベルをスキャンすると、スキャナの設定は一つもしくは複数行のASCII文字列で画面に表示されます。バーコード印刷ソフトウェアを使用し、Code 39シンボルを選択し、バーコードラベルを生成します。他のスキャナに設定をコピーするためにこのバッチ設定ラベルを使用します。

.A016$

Dump Settings

例:

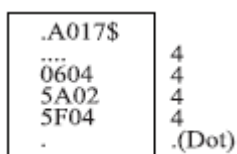
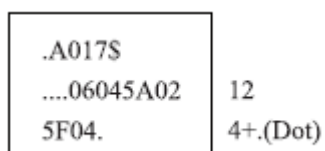
1. 設定内容
   1. 1 ビープ音: ビープ低 – 高
   1.2 CapsLockモード: CapsLock ON(固定)
   1. 3 読み取りモード: 連続自動オフ

2. 設定手順
   2. 1 ビープ　低 – 高スキャン(グループ3)
   2. 2 CapsLock On（固定）をスキャン(グループ3)
   2. 3 連続自動オフ(グループ2)をスキャン

3. 全てのパラメータは英数文字に変換され、画面に表示されます。

4. バーコード印刷プログラムで、画面に表示された各行ごとに印刷します。バーコードはCode 39でなければいけません。

5. 同じ設定にしたいバーコードスキャナで各バーコードを読みます。最初の行から読み始め、次に二行目、等々、上から下の順に読みます。

正しい設定

誤った設定

誤った設定

誤った設定：文字列“. . . . ”は4ドットで、二行目の初めにあります。“. . . . ”は複数文字列に分かれてはいけません。

誤った設定：二行目と三行目は長さに問題があります。各行は4桁でなければなりません。

誤った設定：A017$の後に“…”がついています。
. A017$は設定開始の固定パラメータです。変更できません。最初の行は追加、削除あるいは変更できません。

- 標準値と異なる設定のみがダンプされます。
- 設定は、PCがスキャナのデバイスタイプ（USB，RS232等）と合っている場合にのみPCにダンプすることができます。前の例のデバイスタイプ“Keyboardless Wedge”（キーボード無しウェッジ）は、PC/ATインターフェースですので、PC/ATキーボードインターフェースをサポートしていないシステムに設定をダンプすることはできません。

.A018$

Dump Settings On PC/AT

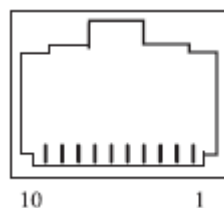
● 複数の文字列を一つにまとめる、あるいは一つの文字列を複数に分割することによってダンプの長さを調整することができます。以下の文字列は上記の例と同じ効果があります。

… I800C06D51DJ8080
80A0O7C005354415254.

文字列に文字を追加したり、文字を削除することはできません。そして最初の3文字“…”が最初の文字列になければなりません。

● ダンプされた文字列のすべての文字は大文字です。ダンプされた文字列に小文字がある場合、大文字に変えて下さい。

第5章 ピン配列と仕様

5. 1 ピン配列

モジュラコネクタ（正面）

5.1.1 キーボードインターフェース

以下の表はキーボードインターフェースのモジュラコネクタのピン配列を示しています。

ピン番号	信号
1	未使用
2	未使用
3	DET
4	GND
5	ターミナルデータ
6	ターミナルクロック
7	電源入力(+5V)
8	キーボードクロック
9	キーボードデータ
10	未使用

注：DET信号は双方向I/Oピンで、保守用です。

キーボードの場合、インターフェースケーブルには更に二つのコネクタがあります。

5. 1. 2 RS232インターフェース

スキャナは、モジュラコネクタでRS232 TTLをサポートしており、そしてインターフェースケーブルを接続すると標準のRS232が使えます。

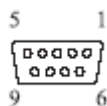
TTL RS232インターフェース:

以下の表は、モジュラコネクタのTTL RS232インターフェースのピン配列を示しています。

ピン番号	信号
1	未使用
2	未使用
3	DET
4	GND
5	TXD
6	RTS
7	電源入力(+5V)
8	CTS
9	RXD
10	未使用

注:
(1) DET信号は双方向I/Oピンで、保守用です。
(2) CTSとRXDは、入力信号で、0Vと5Vのみです。スキャナを標準のRS232ポートに接続して使用する場合は、これらの信号を接続してはいけません。

標準RS232インターフェース:

5 1
9 6

DB9メス(正面)

ピン番号	信号
2	TXD
3	RXD
5	GND
7	CTS
8	RTS
9	VCC

5.2 仕様

- 電源
  - 動作電圧：+5V±5% DC

- 温度
  - 動作時：0℃から50℃
  - 保存時：-20℃から70℃

- 湿度- 0% から95% 相対湿度

付録A クイックセットアップシート

デバイスタイプ

.C001$

PC AT[PS/2]/USB

. C007$

キーボードなし

.C003$

Code 39

Wandエミュレーション

.C002$

シリアルインターフェース

スキャナモード

.F002$

トリガ

.F005$

連続

UPC-E

.H010$

先頭桁カット

.H011$

チェックデジット送信

.H053$

UPC-A変換

ビープ

None

.F012$

ビープ音なし

ターミネータ

.D011$

Enter

スキャンコード

.C010$

U.S.

.C015$

Alt Key

EAN-8

.H022$

先頭桁カット

.H024$

チェックデジットカット

EAN-13

.H016$

先頭桁カット

.H018$

チェックデジットカット

.H049$

ISBN変換

文字遅延

.B010$

140us

.B013$

4ms

コードID

.A009$

No

.A015$

Yes

UPC-A

.H004$

先頭桁カット

.H006$

チェックデジットカット

補助コード

.H028$

No

.H027$

Yes

設定

.B015$

有効

.B016$

無効

.A007$

バージョン表示

.A001$

工場出荷標準値

付録B ファンクションコード　－ PC用

F1

F2

F3

F4

F5

F6

F7

F8

F9

Win Make

F10

F11

F12

Cursor Right

Cursor Left

Cursor Up

Cursor Down

Win Break

Home

End

Pg Up

Pg Dn

Tab

Back Tab

ESC

Enter

Del

Ins

Alt Make

Alt Break

Left Shift Make

Left Shift Break

Left Ctrl Make

Left Ctrl Break

Return

付録C 設定メニュー

グループ1 - デバイスタイプ

01-IBM PC/AT，PS/2 モデル46，60，80，USB等

06-キーボードレスウェッジ(PC/AT、ノートPC)

04-シリアルウェッジ

工場出荷標準値

グループ2 ビープと遅延

ビープ音

.F012$
なし

.F022$
Low

.F018$
Mediu

.F019$
High

ブロック間遅延

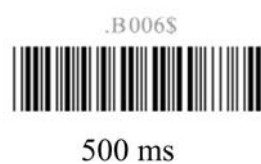
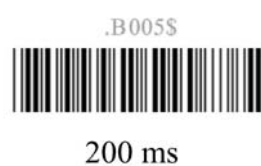
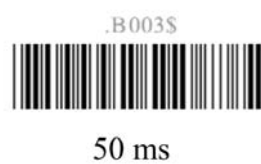
.B001$
1 ms

.B002$
10 ms

.B003$
50 ms

.B004$
100 ms

.B005$
200 ms

.B006$
500 ms

グループ2 ビープと遅延

文字間遅延

140 μs

500 μs

1 ms

4 ms

16 ms

グループ3 キーボードウェッジ設定

ファンクションコード

.B016$

Off

.B015$

ON

最小幅の間隔

.D001$

200us

.D002$

600us

Caps-Lock

.A006$

Auto Trace(PC/XT, AT)

.A005$

Lower Case

.A004$

Upper Case

アイドル時の極性

.D003$

Low

.D004$

High

ワンドエミュレーション出力

.D005$

Bar with High/Space with Low

.D006$

Bar with Low/Space with High

言語(PC/XT, AT)

英語(米国)

スイス

イタリア語

フランス語

日本語(106キー)

英語(英国)

スペイン語

ドイツ語

Altキーモード

数字キーパッドの使用

無効

有効

グループ4 RS232設定

転送速度

.E001$

300

.E002$

600

.E003$

1200

.E004$

2400

.E005$

4800

.E006$

9600

.E007$

19200

.E022$

38400

パリティ

.E009$

偶数

.E010$

奇数

.E011$

マーク

.E012$

スペース

.E008$

なし

データビット

.E013$

7ビット

.E014$

8ビット

グループ4 RS232設定

ハンドシェーク
（シリアルウェッジ）

.E018$

無視

.E019$

電源オン時RTS有効

.E020$

通信時RTS有効

ACK/NAK
（シリアルウェッジ）

.E024$

Off

.E023$

On

BCC文字
（シリアルウェッジ）

.E029$

On

.E030$

Off

タイムアウト
（シリアルウェッジ）

.E025$

1秒

.E026$

3秒

.E027$

10秒

.E028$

無制限

グループ5 スキャナポート

ターミネータ

.D011$

Enter

.D012$

Return

(テンキー)

.D010$

None

コードID

.A009$

無効

.A015$

有効

注: この設定は、EAN128コードIDには影響しません。EAN128は、独自のコードID設定があります。

ラベルタイプ

D021$

0-ポジ(白地に黒)

D022$

1-ポジとネガ

スキャンモード

.F002$

トリガ

.F003$

ワンプレス
ワンスキャン

.F005$

連続

.F004$

テストモード

グループ5 スキャナポート

二重確認

全コード有効

CapsLockオン

CapsLock自動

ファクトリオン

二重確認

.A001$

工場出荷標準値

全コード無効

CapLockオフ

バージョンチェック

コードID無効

データ長(二桁)送信

無効

有効

プリ/ポストアンブル

プリアンブル

ポストアンブル

プリ/ポストアンブルは、上記のいずれかをスキャンし、フルASCIIまたは

グループ6 コードID定義

グループ7 Code 39

Code 39 コードID定義

無効

フルASCII Code 39有効

チェックデジット(CD)
計算と送信

CD計算しない

送信しない

最少長 0

有効

フルASCII Code 39無効

.G005$

チェックデジット(CD)
計算、送信しない

送信

.G007$

最大長 48

グループ7 I 2 of 5

I 2 of 5(ITF)

無効

チェックデジット(CD)
計算と送信

CD計算しない

最終桁削除

最少長 10

有効

チェックデジット(CD)
計算、送信しない

先頭桁削除

削除なし

最大長 64

グループ7 S 2 of 5/ Code 32

S 2 of 5 /中国郵便コード(東芝コード)

.K002$

無効

.K001$

有効

.K016$

固定長オン
（最初の三つ読み込み）

.J017$

固定長オフ

.K004$

チェックデジット(CD)
計算と送信

.K005$

CD計算、送信しない

.K003$

CD計算しない

.K006$

最小長 10

.K007$

最大長 64

Code 32

.K011$

無効

.K010$

有効

.K012$

先頭文字送信

.K013$

先頭文字
送信しない

.K014$

最終文字送信

.K015$

最終文字
送信しない

グループ7 EAN128

Telpen

.L015$

無効

.L014$

有効

.L020$

標準

.L021$

数字セット

EAN128 フィールドセパレータの定義

.M007$

EAN 128 フィールド
セパレータ定義

新しいセパレータを選択するためにフルASCIIコードチャートのASCIIコードをスキャン

.G018$

二重ラベル
セパレータ定義

新しいファンクション定義を選択するためにフルASCIIコードチャートのASCIIコードをスキャン

UCC/EAN 128

.M002$

無効

.M001$

有効

.M004$

コードID無効

.M003$

コードID有効

EAN 128が無効の場合、EAN 128ラベルは、Code 128としてデコードされます。

グループ7 Code 128/Code 93/ MSIコード

グループ7 Code 11/Codabar

Code 11

.I011$

無効

.I010$

有効

.I042$

1 チェックデジット

.I043$

2 チェックデジット

.I013$

チェックデジット送信

.I014$

送信しない

.I015$

最小長 1

.I016$

最大長 48

Codabar

.I002$

無効

.I001$

有効

.I003$

スタート・ストップ送信

.I004$

スタート・ストップ送信せず

.I006$

チェックデジット
計算と送信

.I007$

チェックデジット
計算、送信せず

.I005$

チェックデジット
計算しない

.I027$

CSLIフォーマットオン

.I028$

CSLIフォーマットオフ

.I008$

最小長 3

.I009$

最大長 48

グループ8 UPC/EAN/JAN

UPC-A

無効

有効

先頭桁送信

先頭桁送信しない

チェックデジット送信

チェックデジット送信しない

UPC-E

無効

有効

先頭桁送信

先頭桁送信しない

チェックデジット送信

チェックデジット送信しない

ゼロ拡張オン

ゼロ拡張オフ

NSC=1 無効

NSC=1 有効

グループ8 UPC/EAN/JANコード

EAN-13/JAN-13

.H014$

無効

.H013$

有効

.H015$

先頭桁送信

.H016$

先頭桁送信しない

.H017$

チェックデジット送信

.H018$

チェックデジット送信せず

.H049$

ISBN有効

.H050$

ISBN無効

EAN-8

.H020$

無効

.H019$

有効

.H021$

先頭桁送信

.H022$

先頭桁送信しない

.H023$

チェックデジット送信

.H024$

チェックデジット送信しない

グループ8 補助コード

補助コード

.H028$

2 補助コードオフ

.H027$

2 補助コードオン

.H026$

5 補助コードオフ

.H025$

5 補助コードオン

.H057$

あれば送信

.H058$

必須

.H041$

スペースセパレータ挿入

.H042$

スペースセパレータ
挿入なし

MATRIX 2 of 5 : グループ13

有効

無効

. MO12$
CDV 無効

CDV & CD 送出

CDV & CD 送出しない

最小長 6

最大長48

IATA ： グループ13

有効

無効

CDV 無効

CDV ＆ CD 送出

CDV ＆ CD 送出しない

最小長(標準値6)

最大長(標準値48)

GS1 Databar : グループ32

Databar (RSS14)

Databar-14有効

Databar-14無効

Databar-14
チェックデジット送出

Databar-14
プリフィックス送出

Databar-14 チェック
デジット送出しない

Databar-14
スタック有効

プリフィックス送出しない

Databar-14
IDセット

Databar-14
スタック無効

GS1 Databar : グループ32

Databar (RSSリミテッド)

Datatabarリミテッド-有効

Databarリミテッド無効

Databarリミテッド
チェックデジット送出

Databar-14 チェック
デジット送出しない

Da
プリフィックス送出

プリフィックス送出しない

Databarリミテッド
IDセット

GS1 Databar ： グループ32

Databar（RSSエクスパンデッド）

Datatabarエクスパンデッド
有効

Databarエクスパンデッド
無効

Databarエクスパンデッド
スタック有効

Databarエクスパンデッド
スタック無効

Databarエクスパンデッド
最小長

Databarエクスパンデッド
最大長

Databarエクスパンデッド
IDセット

グループ9 ダンプ設定

.A016$

ダンプ設定

.A018$

PC/AT上でダンプ設定

.C001$

PC/ATインターフェース
キーボード設定

.C002$

RS232インターフェース
キーボード設定

速度= 9600、データビット= 8、パリティ= なし
ストップ = 1、フロー制御 = なし

付録E. フルASCIIチャート

( )内の文字は、Code 39のバーコード印刷です。

NUL(%U)

SOH($A)

STX($B)

ETX($C)

EOT($D)

ENQ($E)

ACK($F)

BEL($G)

BS($H)

HT($I)

LF($J)

VT($K)

FF($L)

CR($M)

SO($N)

SI($O)

付録E. フルASCIIチャート

DLE($P)

DC1($Q)

DC2($R)

DC3(%S)

DC4($T)

NAK($U)

SYN($V)

ETB($W)

CAN($X)

EM($Y)

SUB(%Z)

ESC(%A)

FS(%B)

GS(%C)

付録E. フルASCIIチャート

付録E. フルASCIIチャート

付録E. フルASCIIチャート

付録E. フルASCIIチャート

付録E. フルASCIIチャート

v(+V)

w(+W)

x(+X)

y(+Y)

z(+Z)

{ (%P)

| (%Q)

} (%R)

~ (%S)

DEL(%T)

付録F バーコードテストチャート